

クズ

今が花ざかりの、そこら中にはびこっているカズラです。植えた木に絡みついたり、道路にはみ出したりの困りものですが、生態学的にみれば、森林の縁をおおって森林内の微気候を安定させるマント群落の主役として、重要な役割をはたしています。



温井ダムに勤務していた時、このクズの花を摘んで、塩漬けを作ったことがあります。湯に浮かべれば、八重桜の塩漬けの桜湯と同じように色と香りが楽しめると、ものの本に書いてありました。おまけにクズの花にはフラボノイドが含まれ、二日酔いを癒す効能が知られています。うまくいけば、田舎の上品なおもてなし商品が開発できるかもしれません。ただし、日干しにすればカッカ（葛花）という漢方薬あつかいになり、製造販売は薬事法にしばられてしまいます。あえて塩漬けです。

結果は、あまり思わしくありませんでした。まず香りが良くありません。色のほうも、塩漬けの間は保たれたのですが、湯に入れたとたんにもっ白になってしまいました。湯に色づけするには相当な量が必要で、塩辛くなってしまいました。

私の「クズバナ湯」挑戦は一回きりで終わりました。でも、漬け物の経験が豊富な方なら、良いものができるかもしれません。どなたか試してみませんか。